

# 屋外鉄部

## 鉄製門扉



フェンス、シャッター、物置、パイプ等

抜群の密着性と防錆性の高性能エポキシさび止め。下地を傷みにくい弱溶剤タイプ。

エポキシさび止



油性

水性・速乾性の高性能エポキシさび止め。上塗り兼用のつやあり色も取り揃え。

水性さび止-鉄部用



水性

アクリルシリコン樹脂とさび止め剤配合で強力に鉄部を保護。紫外線にも強い!!

オールマイティーネオ



### スケジュールを決めましょう

高さ1m×幅2.4mの鉄製門扉の場合

工程	使用材料	塗布量(ℓ/㎡)	塗り重ね可能時間(夏期)	理想の人数と時間
1 目	サンディング	サンドペーパー #180~#240	——	2人 60分
	マスキング	マスキングテープ	——	1人 30分
	下塗り	エポキシさび止	0.1	3時間以上 2人 60分
2 目	上塗り1回	オールマイティーネオ	0.12	4時間以上 2人 60分
	上塗り2回	オールマイティーネオ	0.12	2人 60分
	あとしまつ(マスキングテープはがし等)			1人 10分



**作業人数の目安とは**  
その作業の難易度、作業性に相当する理想的な人数の目安です。例えば2人で行う作業を3人で行った場合、より効率的に進められるといえます。

### ＜エポキシさび止＞の標準塗り面積 (1回塗りの場合)

容量	㎡	タタミ(枚)
0.7L	6~8	約4
1.6L	14~18	約10
3L	26~34	約19

### ＜オールマイティーネオ＞の標準塗り面積 (1回塗りの場合)

容量	㎡	タタミ(枚)
0.7L	5~7	約4
1.6L	10~15	約8
3L	19~28	約14

### ＜塗料と養生用品の必要量＞ 上塗りのオールマイティーネオは通常1回塗りですが、

鉄製門扉<高さ1m×幅2.4m柵×両面>をさらにきれいな仕上りを目指すには2回塗り仕上げをおすすめします  
を下塗り1回、上塗り2回する場合

塗装面積  
約5㎡

●エポキシさび止(グレー)  
0.7L:1缶



●オールマイティーネオ(コーヒーブラウン)  
1.6L:1缶



●テレピン油(ペイントうすめ液)  
300ml:1本



油性塗料をうすめる以外にもハケの洗浄にも使えます

●マスカー  
1100mm×25mm

巻き:1巻



床面の養生に使用

●マスキングテープ  
18m巻:1巻



汚れてもよい服装で作業をしましょう

\*手袋の着用も忘れずに..



塗装は気温の低い日を選び、好天の日に行ってください。

雨の日(雨が降りそうな時)や気温5℃以下、湿度80%以上の時の塗装は避けてください。

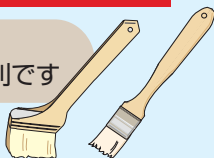
## 使用する道具

☑ 買い忘れがないかチェックを! 塗装用具は作業する人数分用意しましょう。作業効率もあがります。

### 塗装用具

水性、油性にも使用できる万能用が便利です

ハケ(本)



<スジカイバケ> <小バケ>

ハケが入らない狭い隙間の塗装に適しています。柄の部分折り曲げられ角度がつけられます。

ベンダー(本)



小分けの下げ缶が便利です

かくはん棒



下げ缶



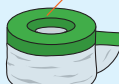
### 養生

塗料のはみ出しや汚れを防ぐために使います。



マスキングテープ( )巻き

マスカーはテープとポリシートが一体となっており広範囲を保護できます



マスカー( )巻き



[新聞紙]



ポリシート( 枚)

### 清掃・補修

さびや旧塗膜の除去に使用します。

表面が平らな面をサンドペーパーがけする場合はサンディングブロックが便利です



サンドペーパー



雑巾・ウエス



皮スキ

ワイヤブラシ

不織布研磨材(さび落とし)

手袋( 双)

# ① 下地処理 まずは塗装する場所の状態を確かめましょう!

## ● 汚れの除去...



泥や苔、藻による汚れや古くなって粉っぽくなった表面は、タワシやデッキブラシ等で汚れを落としてください。  
水洗いをした後は、布などで拭き取り、よく乾燥させてください。

水洗いはできるだけ前日までにしておきましょう

## ● 古い塗膜がはがれている場合...



古い塗膜がはがれかかっていたり、浮き上がっている箇所は、皮スキ等で可能な限り削ぎ落とし、サンドペーパー(#180程度)をかけて出来るだけ平滑にしてください。

<古い塗膜でも、しっかり密着している箇所は落とさなくても問題ありません。旧塗膜の表面は軽くサンドペーパー(#320程度)をかけてください>

## ● 油分がある場合...



塗る面に油分がある場合は、テレピン油(ペイントうすめ液)を含ませた布でよく拭き取ってください。(取っ手付近は手の脂が付いていることが多いです)

## ● さびが発生している場合...



さびが発生している箇所は、ワイヤーブラシや皮スキなどで削り落としサンドペーパー(#180程度)をかけてさびを完全に除去してください。さびをよく落とさないで上から塗料を塗ってしまうと、さびの進行を遅らす程度で、早い時期にさびが表面に出てきてしまいます。

素地が見えるこの程度までさびを落としてください。

また、サンドペーパーをかけて出た粉も同様に拭き取ってください。

# ② はみ出しや汚れを防ぐ為の処理 マスキング(養生)

塗らたくない部分や塗料が付着すると困る部分には必ずマスキングテープを貼ってください。マスキングテープを貼る時は、「きわ」の部分をしっかり押えてください。また、マスキングテープは、幅の広いものをおすすめします。床面には、新聞紙やポリシート等を敷き保護すると塗装時の汚れが防げます。



支柱  
土台

取っ手



床面

# ③ 塗料をかき混ぜる

## ● 塗料は中身をよくかき混ぜてからご使用ください

塗料は様々な原料から成る混合物のため、一部の色の粉が沈んでいることがあります。容器を振らないでフタを開けたとき、色が違うように見えるのはこれが原因です。

**! 大切なのは、中身をよく混ぜることです。**

フタを開ける前に容器を逆さにして振り、フタに手をそえてマイナスドライバー等で開け、底にドロツとした固まりがなくなるまでヘラ等で充分にかき混ぜてください。



\*フタを開ける際に塗料が飛び散ることがあります。ポロ布をかぶせてからフタを開けるなどご注意ください。

●粘度高く、塗りにくいと感したら



水性と油性では、うすめるものが違います。(水性塗料は「水」でうすめられます)

<オールマイティーネオ>は、通常うすめないで塗れる仕様になっていますが、粘度高く塗りにくいと感したらうすめてください。

<エポキシさび止>は、うすめる仕様になっています。

\*一度うすめた塗料は保存ができなくなりますので別の容器や塗り皿に移してからおこなひましょう。

水性  
■オールマイティーネオ



うすめ液:水  
塗料に対し重量比で  
5%以下  
1.6Lの場合塗料に対し80ml以下

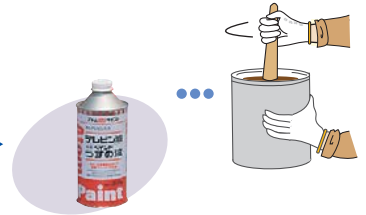


油性  
■エポキシさび止



うすめ液:テレピン油  
(ペイントうすめ液)  
塗料に対し重量比で  
5~10%程度

うすめる時は、充分にかき混ぜてください。



テレピン油(ペイントうすめ液)

## ④ 下塗り(さび止め)塗料を塗る

さび止め塗料は、さびを落とした部分に塗ってください。古い塗膜でもしっかり密着している部分は、さび止め塗料の塗装は必要ありません。

・さび止め塗料を塗った後は充分に乾燥させてください。

さび止めにエポキシさび止を使用した時の上塗り可能時間(さび止め塗装後から上塗りまでの間隔)の目安は、通常の気候(気温23度・湿度60%)で3時間以上です。気温が低い冬期は、6時間以上程乾燥させてください。



厚塗り注意!



\*タレや厚塗りを防ぐためには容器や塗り皿のフチでよくしごき余分な塗料を落としてください。

\*<オールマイティーネオ>は鉄部に直接塗れますが、さび止めペイントを塗ると耐久性が向上します。

### ●上塗り兼用さび止塗料が便利です。

一般的なさび止め塗料は必ず上塗り塗料が必要ですが、「水性さび止・鉄部用」なら1回塗りで下塗り・上塗りを兼ねることができます。しかも乾燥が速い水性なので作業時間も短縮できます。

HALS配合で紫外線に強い!



水性 水性さび止・鉄部用

容量:200ml・0.7L・1.6L  
塗り回数:1回

さびの上から直接塗れます

用途:鉄部(鉄骨・鉄扉・門扉・フェンス・物置・シャッター)、トタン(屋根を除く)、アルミ建材、ステンレスなどの上塗り兼用さび止め

⚠ さびの上から塗る場合はこぶさびを落としてから必ず2回塗りしてください。

## ⑤ 上塗り塗料を塗る

■塗りにくい箇所を先に塗りましょう

細かい格子／形状が複雑な箇所



細かい格子は、小バケで塗っていきましょう。



注意! ハケに塗料をつけすぎるとタレやすくなりますので注意が必要です。

格子の間／底



ハケの毛先が入りにくいような狭い部分は、ベンダーを隙間に入れて塗っていきます。塗り残しがないかよく確認してください。

ベンダー



■広い面は最後に塗ってきれいに仕上げましょう



比較的広い面は、スジカイバケでしながら塗り広げていきましょう。ハケについた塗料が切れないうちにつけ足していくとスムーズに塗装ができます。



注意!

半乾きの時に塗り重ねるとベタついて表面に凹凸ができてしまいます。

気になっても乾燥してから補修塗りをしましょう



## さらにきれいな仕上がりを目指すには2回塗り仕上げをおすすめします

「オールマイティーネオ」は、通常1回塗りですが、鉄部に塗る場合や濃い色の下地に明るい色を上塗りする場合、また下地の影響を受けやすい色(黄、赤など)は、2回塗りをおすすめします。



### 2回塗り仕上げをおすすめする理由

#### 1. 仕上がりがより美くなる

塗料は、1回で仕上げるよりもうすく塗り重ねた方が均一に塗れ、塗りムラが出にくく美しく仕上がります。またタレなども防ぎやすくなります。

#### 2. さび止め効果が長期間持続する

上塗り1回塗りの場合塗りムラによって塗膜のうすい場所が生じてしまい、本来のさび止め効果が得られにくい場合があります。2回塗りすることで塗膜が2層になり、より強力でさびを防ぐことができます。また必然的に塗膜の耐久性も上がります。



1度に2回塗り重ねることが「2回塗り」ではありません。1回目の塗装が完了し、塗り重ね可能時間以上乾燥させてから2回目を塗装しましょう。また、さび止めを下塗りした後、上塗り塗料を塗装する際は、上塗り可能時間を確認し充分乾燥させてから塗って下さい。

塗り重ね可能時間をチェックしましょう

＜オールマイティーネオの場合＞



夏期:4時間以上  
冬期:6時間以上

「塗り重ね可能時間」は、製品表示にある乾燥時間とは異なります

## ⑥ あとしまつ

マスキングテープは、乾く前にはがしてください。乾燥した後ではがすとマスキングテープと一緒に塗膜がめくれてしまう恐れがあります。塗膜がめくれてしまいそうな時は、境目に軽くカッターナイフで切れ目を入れてからはがしてください。床面に敷いた新聞紙等は汚れている面を内側にして丸めて捨てると周りを汚さずに処理できます。



2回塗りの場合は2回目の塗装の後にマスキングテープをはがします。(最終塗装が終了したらマスキングテープをはがします)

### ● 用具の手入れ

ハケは、含んでいる塗料を新聞紙等で拭き取った後、  
＜オールマイティーネオ＞は、水で洗って下さい。  
＜エポキシさび止＞はテレピン油  
(ペイントうすめ液)で洗って下さい。 .....  
洗い終わったら陰干ししてください。

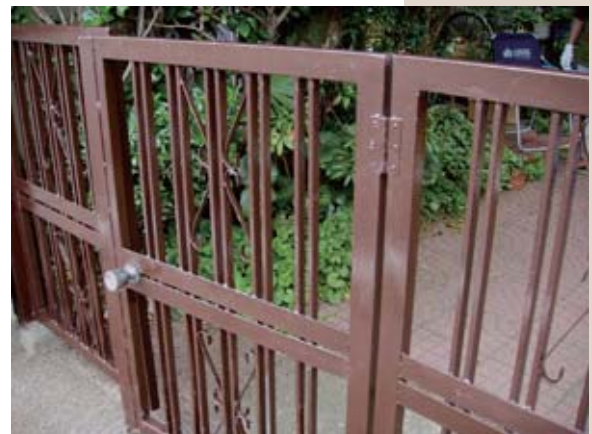


\*エポキシさび止は「酸化重合形塗料」のため、(様々な条件が重なると自然発火の恐れがあります。)塗料がついた布や新聞紙は一度水に濡らしてから捨ててください。

## 完成(イメージ)



塗装前



塗装後